

栃木県教育委員会定例会会議録

令和5(2023)年6月5日(月)、栃木県教育委員会定例会を栃木県庁南別館内教育委員室に招集した。

1 出席者（教育長及び委員）は次のとおりである。

1 番（教育長）	阿久澤	真理
2 番	陣内	雄次
3 番	板橋	信行
4 番	鈴木	純美子
5 番	金子	達也
6 番	永島	朋子

2 議事に参与した職員は次のとおりである。

教育次長	大森	豊
教育次長	長	裕之
参事（高校再編推進担当）	佐瀬	学
総合教育センター所長	大高	栄男
教育政策課長	高林	実
施設課長	和久井	浩
学校安全課長	松本	正
義務教育課長	山岸	一裕
高校教育課長	山下	拡男
特別支援教育課長	玉田	敦子
生涯学習課長	長野	辰男
健康体育課長	角田	正史
総務主幹	細川	智彦
教育DX推進室長	高橋	伸輔
人権教育室長	早乙女	寿雄

3 午前10時30分、教育長及び委員4名が出席しており、委員会は成立したので、教育長は定例会を開催する旨を告げた。

4 教育長は、本日の会議録署名委員に2番陣内委員を指名した。

5 教育長は、報告を受ける旨を告げた。

6 報告

(1) 令和5(2023)年度5月補正予算について

教育長から説明を求められ、健康体育課長が説明した。

この報告に関して、出席者から質問や意見はなかった。

(2) 令和6(2024)年度栃木県公立学校新規採用教員選考試験の応募状況について

教育長から説明を求められ、義務教育課長が説明した。

この報告に関して、出席者から次のような質問や意見等があった。

〔委員〕

- ・ 今回は昨年度と比べて減少しているということだが、その要因など分析があれば教えてほしい。

〔事務局〕

- ・ 昨年度は受験年齢の引き上げがあったこともあり増加したが、全国的な傾向で、受験者数の減少がある。
また、新卒者の減少や、大量退職に伴い採用者数が大幅に増加した時期があり、既卒者、臨採などの応募も減少傾向にあると思う。

〔教育長〕

- ・ 昨年度の実績で、全国的にみて、栃木県の状況はどうか。

〔事務局〕

- ・ 近県に比べると、栃木県は倍率が高い状況にある。

〔教育長〕

- ・ 県においても、年齢制限の引き上げや、高校生に教員の魅力を伝えるような講座をやってみたり、マスコミでも報道されたが、国全体として、採用試験を2週間程度繰り上げるような話も出ており、教員採用について、様々な努力をしていくことになるだろう。ただ、まずは教員の働き方改革だと思う。若い人からみて働きやすい、教員になってみたいと思えるような環境にしていくことが大切だと思う。県だけでなく、国のシステムの話もあると思うので、県教育委員会として、できることをやっていきたい。

- (3) 令和6(2024)年度県立高等学校入学者選抜について
教育長から説明を求められ、高校教育課長が説明した。
この報告に関して、出席者から質問や意見はなかった。

7 教育長は、以上で本日の会議を終了することを告げ、午前10時48分、閉会した。